

イ 大山の街並み

評価した人数	10名（産業能率大学9名、当センター職員1名）		
評価実施日	8/1、12、15（2名）、16（5名）、17		
大山の街並みを歩くのは	2回目 7名	3回以上 3名	
選択したコースは	「こま参道」	5名	
	「とうふ坂・旧参道」	4名	
	どちらも	1名	

*評価項目中、ゴシック下線付で表記されている回答は複数回答である。

評価項目1 小田急伊勢原駅から大山ケーブル駅バス停までの案内表示について

概ねわかりやすい（5名） 少しわかりにくい（4名） 未記入（1名）

【よかった点】

- ・いつも利用しているバス停なので分かりにくいことはない。案内所で道を聞ける。
- ・石倉通過以降は、看板が大きく目に入りやすい。
- ・改札口前や階段を下った先にも案内があり、複雑な作りをしている駅ではないので十分である。
- ・全体的に日本人向けには分かりやすい。

【気になった点】

- ・「大山ケーブル行き」と「大学行き」のバスがややこしい。
- ・「大山行きバス停」の看板があるが行列ができると見えなくなる。
- ・伊勢原駅から大山に入るまでの案内表示が分かりづらく、どのくらいで到着するか分からない。
- ・大学の案内表示はあっても、大山への案内は少ない。
- ・バスの中で、運賃表や路線図の表示が電光掲示板でない。運賃表の文字が小さい。

【提案など】

- ・「大山ケーブル」行きの看板を増やす。
- ・改札を出た所からバス停までの誘導線を作る。大学行きと大山行きを分ける。
- ・駅の改札をでた所にうまく案内を出す。
- ・バス停が老朽化し、一部の表示が擦り切れたり、薄くなり、修繕が必要である。また、待合場所が狭く、ベンチの数が少ない。案内表示の英語・ハングル表示は必要である。

評価項目2 史跡・文化財・滝などの説明表示について

少しわかりにくい（4名） わかりにくい（4名） 概ねわかりやすい（2名）

【よかった点】

- ・地図を持っていれば大体場所が分かるので、改善する場所が分からなかった。

【気になった点】

- ・文字が薄れていて分かりづらい。
- ・草木に隠れて説明や詳細が分かりづらい。
- ・苔で読めないものもあった。玉垣などは看板を置いて目立たないのでスルーされてしまう。滝は場所が奥まわっていて気づかない。
- ・良弁滝など詳しい説明がないので通過されてしまう。

- ・先導師に関する記念碑など草木に隠れて読みにくい所があった。
- ・老朽化・夜でも見やすい説明表示。ま参道では老朽化や汚れたものがあった。
- ・茶湯寺には、一切の説明表示がなく、どういう寺なのか、さっぱりわからなかった。
- ・下社の神泉は説明があつてよかったが、文章が分かりづらい。

【提案など】

- ・子供や若い人向けの説明を作る。
- ・「そこに何かある！」という分かりやすい看板があるといい。
- ・子供向けの説明があるとよい。
- ・草木の清掃や定期的な管理が必要である。夜間も使える案内表示があるとよい。
- ・もう少し文字が見やすいと年配の観光客に優しい。

評価項目3 「こま参道」コースを歩いた方へ

【よかった点】

- ・商店街のように店がたくさんあってよい。入り口が大きく何があるか分かりやすかった。
- ・金比羅山の玉垣よりも親しみやすく、参道自体の気軽さを演出できていた。

【気になった点】

- ・飲食店、宿坊、土産店の活気の無さ。店に人が出ていなかったり、呼び込みや声掛けをしていなかった。

【提案など】

- ・玉垣の説明看板があるとよい。
- ・店が行政と協力して、客を呼び込めるような雰囲気づくりをする。
- ・アピールできるとしたら、昔からあるような雰囲気を感じとられる場所であること。
- ・夜まで営業して、街並みに活気を出す。

評価項目4 「とうふ坂・旧参道」コースを歩いた方へ

【気になった点】

- ・全体的に旅館など印象は暗かった。また、人通りも少なかった。
- ・いたって目立っていない。名前の由来のエピソードなど面白いことは、たくさんあるのにもったいない。
- ・歩くのは旧参道でなく、大通りを通る人が多いのではないか。旧参道がどのルートなのか分かりにくかった。ただ、歩くだけでは、楽しみがなかった。

評価項目5 「大山の街並み」における階段や、坂の登り下りについて

【よかった点】

- ・長い階段だが、英語表記やクイズ・豆知識などが書いてあり、やりながら歩くと楽しかった。
- ・「あと半分！」など励ましの言葉もあった。
- ・こま参道の下の方の階段は、比較的歩きやすかった。

【気になった点】

- ・車椅子利用者にはとても不便である。

- ・高齢者には、きつい坂や階段が多い。
- ・道を調べたり、水分補給など店に入らない程度の簡易的な休憩はしづらい。
- ・バリアフリー化や移動の自動化をするのは難しい。
- ・浴衣の来場者にはきつい。
- ・ケーブルカー直前辺りから急にきつい。

【提案など】

- ・手すりをすべてにつけていく。
- ・危ない場所は整備する。
- ・右側通行、左側通行の看板があった方がよい。
- ・自販機やベンチを設置する。
- ・若者や外国人に絞ってその年齢層のニーズに合ったアイデアを講じていく。

評価項目6 実際に「大山の街並み」を歩いて、魅力的だと思ったものについて

【よかった点】

- ・とうふ坂は、意外と多くの建物があり、とても落ち着く。
- ・大山の空気は美味しい。自然の良さ、大山の歴史を感じる。
- ・おいしいものがたくさんある。スタンプラリーは楽しかった。店の人が温かい。
- ・大山は山登りメインだが、こま参道は歴史を楽しみながら特産品を味わえる。
- ・「ちょっと遠出したお散歩感覚」は非常に魅力的である。
- ・豆腐が美味しい。店のバリエーションもあり、歩いていて楽しめる。

【気になった点】

- ・スタンプラリーの参加率が低い。

【提案など】

- ・スタンプラリーはもっとアピールした方がよい。
- ・観光案内所をいくつかつくる。

評価項目7 実際に「大山の街並み」を歩いて、感じた改善点について

【気になった点】

- ・旧参道の道が分かりにくい。
- ・活気がなく若者は少し満足できない。
- ・階段がケーブルカーの駅の前で急になるのが気になる。待合室の雰囲気も居心地が悪い。

【提案など】

- ・もっと道案内などの看板を増やす。
- ・手すりをつける。
- ・何をどこで売っているかなど、パンフレットに分かりやすく載せる。
- ・自販機やベンチを増やす。
- ・移動手手段の改善、参道の途中の店のサービス改善、案内表示の改善（英語表記の追加やオーディオガイドの追加）
- ・若者の街にするのではなく、高齢者でも気軽に登れる山ということをアピールする。
- ・暗くなると店がすぐ閉まるイメージがあり、早急に改善する。

評価項目 8 「大山の街並み」を外国人観光客にアピールすることについて

【気になった点】

- ・英語表記の道案内、施設案内、バスの案内が少ない。
- ・中国語、韓国語の表記がない。下社には英語表記がない。

【提案など】

- ・外国人用のパンフレットを作る。
- ・富士山にも負けない歴史のある山ということを宣伝していく。
- ・外国人観光客の受入態勢を整える。大山こま、大山とうふ、大山の自然と歴史をアピールする。富士山の片参りでなく両参りをアピールする。
- ・大山といえば、 と答えられるように、大山の中でも一番といえる観光スポットをつくる。
- ・文化財や大山の街並みに関する歴史的事項などをパンフレットに載せる。
- ・大山観光のホームページのスマートフォン対応&英語対応、バスの中の英語表記案内、外国人対応のインフォメーションセンターの開設。ボランティアガイドによるツアー。
- ・目的、宗教、国籍などを見極める。
- ・トイレにも外国語表記が必要である。

評価項目 9 「大山の街並み」歩きのリピーターを増やすことについて

【気になった点】

- ・年配者には口コミという手段でしか、広めることは難しい。
- ・普段は暗いイメージがある。
- ・トイレが汚いのでは、また行こうと思えない。とうふ坂や旧参道の地図や案内がない。

【提案など】

- ・大山の魅力の要点だけ書いたチラシ等の作成をする。
- ・大山とうふなどを使った新たなグルメの開発。
- ・とうふ坂に道案内の看板を立てる。交通整理の人に一言かけてもらう。
- ・神社、史跡は、一回で回りきれないので、いくつかの歴史探索コースを提案し、一度来て回りきれなかったところに、また来てもらう。
- ・伊勢原の以外の人に、年間を通じて、これだけの行事を行っているということを知ってもらう。
- ・店や住民のほか、近くにも大学があるので、大学を巻き込んで何かをする。
- ・ターゲット、大山の魅力を明確化して、その基づいたアイデアをスピーディーに実行していく。
- ・若者には SNS やウェブサイトを使用した Web コンテスト等を行う。
- ・活気回復のため、道に明かりをという工夫から始めて、そこからリピーターを増やしていく。
- ・こま参道へ行った人が、下って旧参道やとうふ坂に行こうと思わせるような何かアピールがあればよい。

自由意見

- ・観光大使が大山の良さを伝えていくことは、とても大きい。
- ・名物や有名なイベントが増えれば自然と人は増える。
- ・トイレときつい階段。トイレが汚いと印象が悪い。下社付近の外国語表示のなさが気になる。
- ・大山と言えばこれ！というような何かを考える。
- ・もっと多くのイベントや外国人が喜ぶようなイベントを増やせばもっと活気づく。
- ・パンフレットの情報がバラバラだったため、マップ、店情報、パワースポット、歴史的情報など一冊でわかるパンフレットがあるとよい。まず知りたい！読みたい！と思ってもらうため、HP なども視覚的にアピールする。読みたい！と思わせる工夫として「ターゲット別の見どころ紹介」のページをつくる。
- ・IT を利用した PR の推進。若者や外国人観光客をターゲットにして、大山の HP をスマートフォン利用できるようにしたり、アプリ開発をして、それをダウンロードすれば土産店で使える電子クーポン券をもらえるようにする。
- ・歴史がある町、歴史のある山としてのアピールに専念する。
- ・住民にも負担の少ない普段からできる簡単な明かりをつけることから始める。

特記事項（特に気づいた点）

- ・「大山駅」で降りる人を増やす。そのために、「大山駅」周辺の店を増やしたり、バスで滝の案内をする。また、道路に誘導線を描いてしまい、観光客を誘導する。
- ・マラソンやロードバイクに注目した観光地づくりをする。

